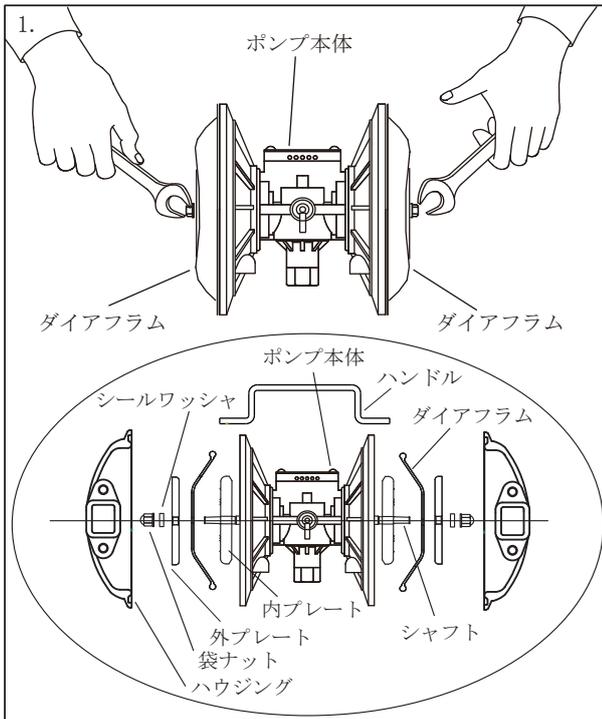


ポンプの分解・部品交換・組立

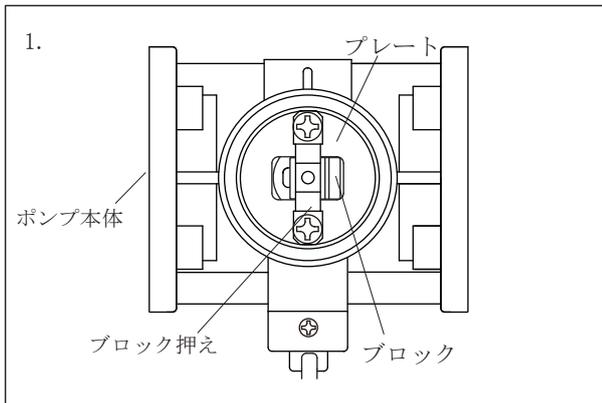
ポンプの分解と組立は、以下を参考にして行って下さい。尚、ポンプを分解する際は、供給エア配管を外すとともに、吸入、吐出側のホース、配管等も取り外して下さい。

1. 分解

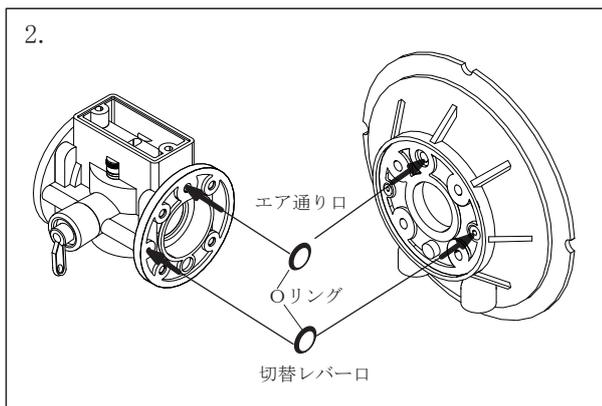


1. ポンプ本体内部の分解は、左右の袋ナットにスパナをかけ一方を固定して回し袋ナットを外します。シャフトに固定された部品はシールワッシャ、外プレート、ダイアフラムの順にとれて左図の様に開けます。この時、シャフトにパイプレンチ等はかけないで下さい。
尚、左右のダイアフラムの向きは凹みがある方がポンプ本体側になります。
プレートは内、外とありますが、いずれもR面がダイアフラムにあたります。

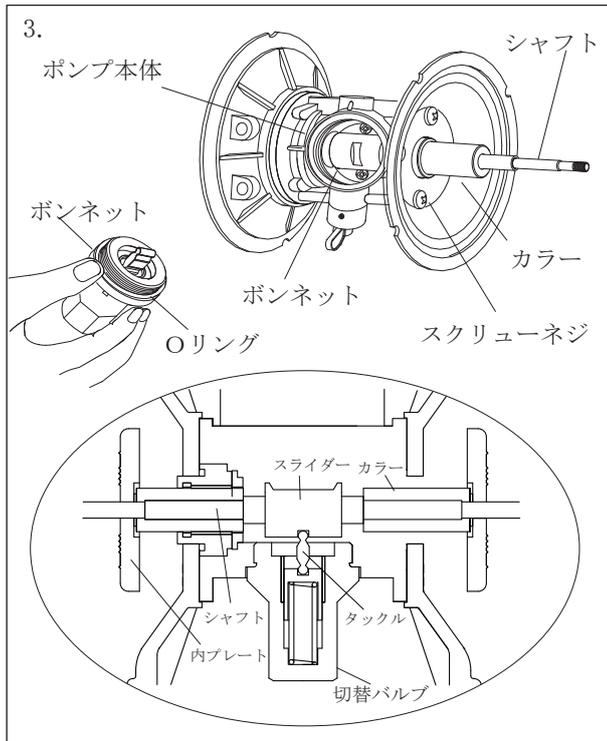
2. 組立



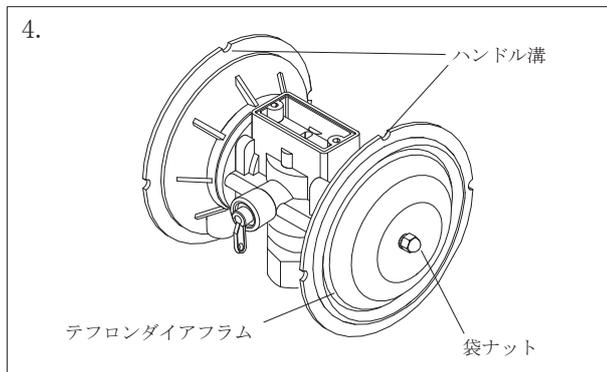
1. ポンプ本体の切替部は最初に、排気ガイドを底部に押し込み切替シートにプレートを重ね入れます。プレートの中央部にブロックを据え、ブロック押えをナベネジで止めます。
この際、ブロックがブロック押えの凸部を中心に左右小気味良く動くことを確認します。
(部品表 組図 切替バルブ組参照P-14)



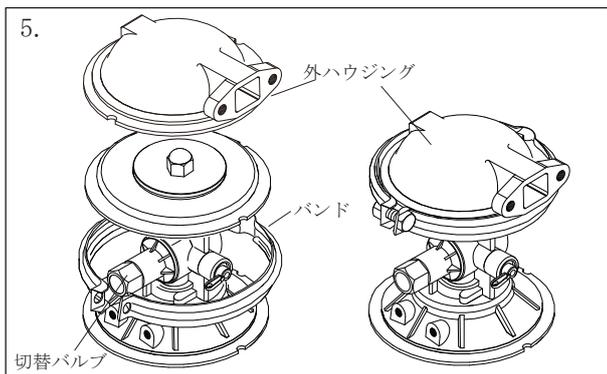
2. 左右のエアハウジングのエア通り口と切替レバー口にOリング(P5)を入れたのを確認し、ポンプ本体と左右エアハウジングとをスクリーネジで止めます。



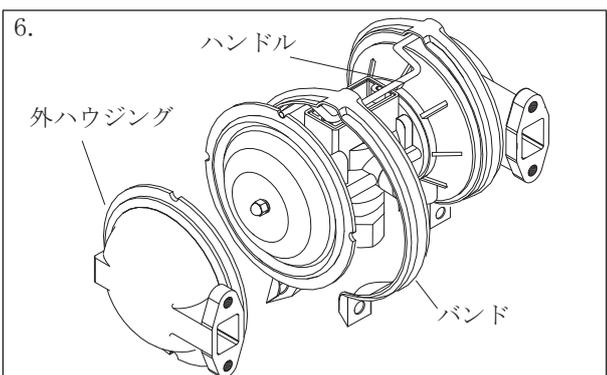
3. 本体中央のボンネット口からスライダーを入れ、駆動部位のシャフト、カラーを差し通します。
 スライダーのタックル溝をポンプ中央に移動させ、ボンネットガイドの溝に立たせたタックルが倒れないようにねじ入れます。
 シャフト両端に内プレートを入れ、左右に動かしタックルの収まりを確認します。(カチ、カチという切り替え音)



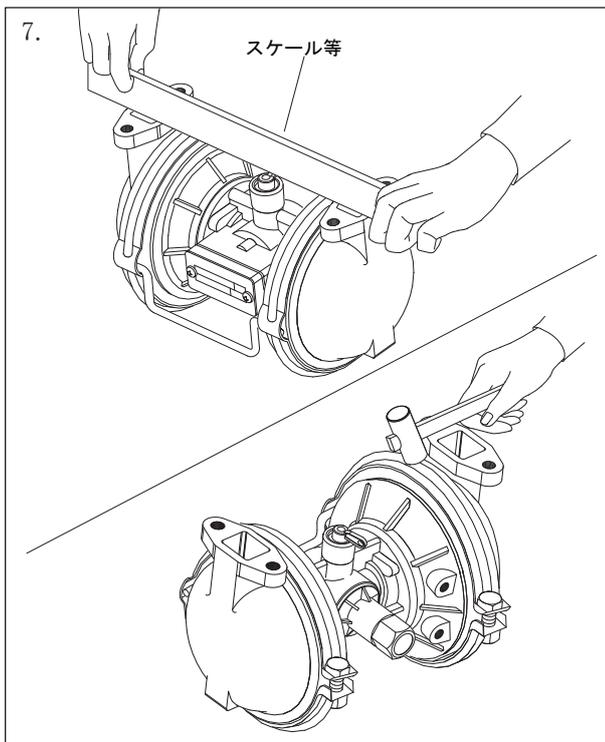
4. ダイアフラムを入れた後に、プレート(外)、ワッシャーを袋ナットで締め、固定します。
 テフロンダイアフラムの場合は、エアハウジングのハンドル通し溝とダイアフラムの凹を合わせ、左右の袋ナットにスパナーをかけ、ゆっくりと同時に締めるようにします。
 この時、両側のダイアフラムの凹部とハンドル通し溝が合っていることを確認して下さい。



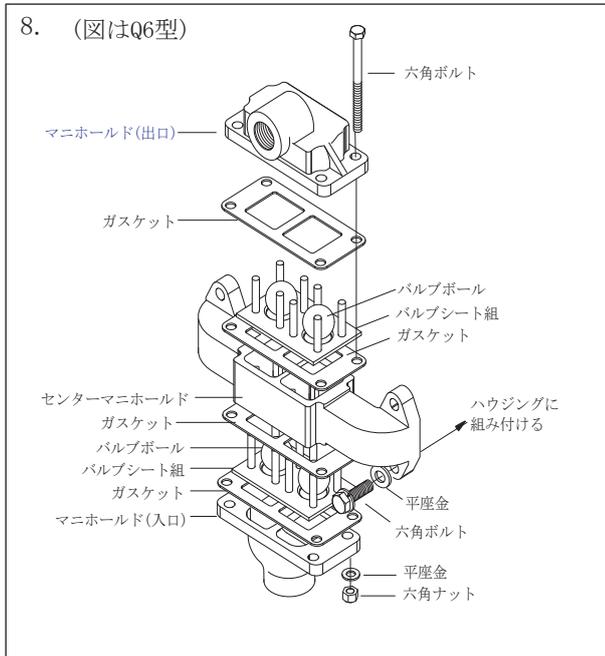
5. 外ハウジングはマニホールド接続部がポンプ本体の切替レバー側(エア口とは反対)を向くようにし、エアハウジングのハンドル溝に外ハウジングのハンドル溝を合わせます。
 バンドは突起部が上に、ボルト孔が下にくるようにしてポンプ本体に一旦まわし通しておき、バンドを開き気味にして内側からエアハウジングと外ハウジングをはさみ込みます。
 この際、クランプ等でボルト孔部を締めた後にワイヤ等で固定しボルトを通す方法もあります。



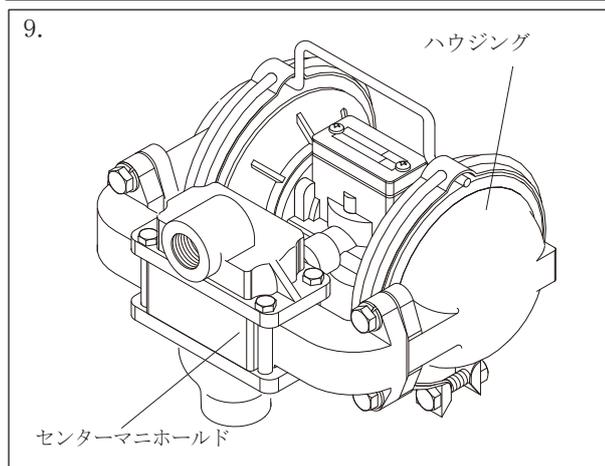
6. もう一方の外ハウジングは、ハンドルを両方の通し溝に渡した後で、凹部を重ね合わせます。
 バンドは片方側と同じ要領でポンプ本体に回しおいておき、内側から内ハウジングと外ハウジングをはさみ込みます。
 ボルトは仮止めにし、左右外ハウジングの同一面を出してから締めを調整します。



7. 左右外ハウジングの同一面を出した後は、ダイヤフラムが内外ハウジングの溝でしっかり押さえられるようバンドの外側を木槌やプラスチックハンマーで均一にたたきながら、ボルトを増し締めします。(この作業を省くとバンド部からの液もれやエアもれにつながります。)
バンドの本締めを終えた時点でポンプにエアを入れ空運転を行い、エアもれ 駆動音 ダイアフラムの反復音等に異常があるかないかを確認して下さい。



8. 左図の部品位置にあわせ、出入口 マニホールドをセンターマニホールドに組付けます。



9. センターマニホールド組み立て部をポンプベースに組み合わせます。
スタンド、排気カバーの取り付けが終わったら再度ポンプの空運転を行い、エアの吸込み 吐き出しが正常かどうかを確認して下さい。